



2023年5月12日

各位

会社名 株式会社 イード  
代表者名 代表取締役 宮川 洋  
(コード: 6038、東証グロース)  
問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 久岡 千恵  
(TEL. 03-6635-0000)

### 2023年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年8月12日に公表した2023年6月期通期（2022年7月1日～2023年6月30日）業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 2023年6月期通期連結業績予想数値の修正（2022年7月1日～2023年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,000	730	730	500	101.46
今回修正予想（B）	6,000	520	520	350	69.75
増減額（B－A）	0	△210	△210	△150	
増減率（％）	0.0	△28.8	△28.8	△30.0	
（ご参考）前期実績 （2022年6月期）	5,574	638	638	450	91.91

#### 2. 通期業績予想修正の理由

当社においては、上期（2022年7月～12月）の連結業績は、概ね堅調に推移しており、特に売上高については、M&A等による積極的な事業領域の拡大により、第3四半期連結会計期間（2023年1月～3月）においても引続き順調に増加しています。

しかしながら、営業利益については、第3四半期連結会計期間は前年同期303百万円に比べ95百万円減少し、208百万円となりました。

その要因としましては、「巣ごもり需要」の一巡や不透明な景気動向により、利益率の高いネット広告、各種受託案件や、EC物販、雑誌出版などが減収となる一方、人件費を含む原価、販管費の増加が影響しました。

特に、過去3年間に及ぶ新型コロナの環境下において、積極的に「巣ごもり需要」を取り込むことで大きく利益を上げてきたEC関連事業（EC物販、ECソリューションなど）及び雑誌出版事業（アニメ雑誌、パズル雑誌）において、これらの反動等で減収になったことが挙げられます。2023年1月以降は、マスク着用指針の緩和や5類への移行等を踏まえたコロナ収束への期待感が急激に高まり、コロナ以前への揺り戻しが想定よりも早くかつ大きく進んだことに加え、仕入・物流費・用紙代などのコストアップも影響しました。

さらに収束の見えないウクライナ危機、米中対立、物価高など、社会経済環境は依然として先行き不透明感が強く、例年と比べて、追加的な広告出稿、リサーチ、新規システム開発などが「様子見」「先送り」とされる傾向が強く、特に主要な顧客の年度末である3月に向けて、例年利益率の高い案件受注が大きく積み上がるのところ、当期は想定を割り込む結果となりました。

これらの要因に対して、早急に対応策を講じて参りますが、直ちに第4四半期連結会計期間（2023年4月～6月）においての十分な効果は得られないものと想定し、2022年8月12日公表の通期連結業績予想を修正することといたしました。

（注）本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上